

第2回 住吉川バイオエコノミー義塾 シンポジウム プログラム

- テーマ：「バイオエコノミー時代の新モダリティ戦略」
- 開催日時：2022年7月8日（金） 15:00～18:00
- 開催場所：神戸市立東灘区文化センター4階「うはらホール」/オンライン（ハイブリッド）
（神戸市東灘区住吉東町5丁目1-16）
- 主催：住吉川バイオエコノミー義塾
- 共催：神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科
- 協賛：株式会社バイオパレット、株式会社シンプロジェン

■ プログラム：

時間	内容
15:00～15:05	開会挨拶 主催者 椿 雅行（住吉川バイオエコノミー義塾 事務局長） 共催者 白川 利朗 （神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科 副研究科長・教授）
第一部：主催者話題提供	
15:05～15:25	「バイオエコノミー時代の新モダリティと国の競争優位」 山本 一彦（住吉川バイオエコノミー義塾 塾長）
第二部：講演 ～神戸エリアにおける新モダリティへの挑戦～	
15:25～15:45	講演①「遺伝子治療」 山田 尚之 氏（株式会社シンプロジェン 取締役 CTO）
15:45～16:05	講演②「細胞治療」 川真田 伸 氏 （神戸医療産業都市推進機構 理事・細胞療法研究開発センター長）
16:05～16:25	講演③「マイクロバイオーム治療」 奥村 亮 氏（株式会社バイオパレット 取締役 CSO 兼 CBO）
16:25～16:45	講演④「経口ワクチン治療」 白川 利朗（株式会社イムノロック 取締役）
16:45～16:55	休憩
第三部：パネルディスカッション	
16:55～17:55	「神戸エリアにおける新モダリティ・エコシステム構築の可能性」 パネリスト： ▪ 山田 尚之 氏 ▪ 川真田 伸 氏 ▪ 奥村 亮 氏 ▪ 白川 利朗 ▪ 花谷 忠昭 氏 （神戸市 医療・新産業本部 医療産業都市部 医療政策担当部長） モデレーター： 山本 一彦
17:55～18:00	閉会挨拶 椿 雅行（主催者）

別添：プログラム詳細

<登壇者等略歴>

山本 一彦（株式会社シンプロジェン 代表取締役 社長 兼 CEO）

1988年に一橋大学商学部経営学科卒業。住友電気工業株式会社、株式会社野村総合研究所（企業財務調査室）を経て、ベンチャー企業などで財務、経営戦略の責任者を経験。1998年に独立系ベンチャーキャピタルを設立創業し、代表取締役に就任。創業期専門のベンチャーキャピタリストとしてベンチャー企業の投資育成に取り組む一方、企業金融の専門家としてM&A・財務戦略などのコンサルティングを提供。2016年3月にベンチャーキャピタルの代表取締役を退任し、2016年4月に神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教授就任（現任）。2018年9月より株式会社シンプロジェン取締役、2021年12月より現職。

山田 尚之 氏（株式会社シンプロジェン 取締役 CTO）

1990年に千葉大学大学院理学研究科修士課程修了、2007年に東京大学論文博士（農学）。1990年、味の素株式会社に入社。分析化学を専門とし、バイオ医薬品、食品用酵素等の分析・構造解析技術の研究開発に従事。先端分析研究および動物細胞用培地開発のグループ長として、6年間マネジメントを経験。2017年より、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構（AMED）の創薬事業部 医薬品研究開発課 調査役として、創薬・医薬品開発および遺伝子治療に関わる創薬基盤研究開発のファンディング業務（技術戦略策定・プロジェクト企画立案・運営・予算管理等）に従事。2022年4月、株式会社シンプロジェン取締役に就任（現任）。

川真田 伸 氏（神戸医療産業都市推進機構 理事・細胞療法研究開発センター長）

1981年に京都大学理学部物理学科卒業。1990年、神戸大学医学部卒業。1991年から和歌山赤十字病院（血液内科）で臨床医を務める。1998年、京都大学大学院医学研究科（病理系）修了し、米国へ。システミックス社、スタンフォード大学医学部（博士研究員）を経て、2002年に先端医療振興財団先端医療センター研究所主任研究員に就任。2015年より公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター長（現職）。

奥村 亮 氏（株式会社バイオパレット 取締役 CSO 兼 CBO）

1998年に北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了。その後、第一製薬株式会社（現・第一三共株式会社）にて、細菌感染症やマイクロバイオーム関連疾患を筆頭に幅広い疾患領域の創薬研究に従事。2008年にキノロン系抗菌薬「グレースビット」の上市に薬理担当の一員として貢献。2009年に千葉大学大学院にて薬学博士号を取得後、ハーバード大学医学部/MGH 博士研究員を経て、第一三共株式会社の薬理系研究所にて主任研究員、グループ長を歴任。2021年12月、株式会社バイオパレット取締役に就任（現任）。

白川 利朗（株式会社イムノロック 取締役）

1992年に神戸大学医学部卒業。バージニア大学でのリサーチ・アソシエイト、神戸大学医学部での助手、准教授等を経て、2015年に神戸大学大学院保健学研究科国際保健学領域 教授に就任。2016年、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科教授に就任（現任）。2003年～2006年に神戸大学病院において実施された前立腺癌に対するアデノウイルスベクターを用いた遺伝子治療の臨床研究を主導し、2007年に日本遺伝子細胞治療学会の学会賞を受賞するなど、遺伝子治療分野での実績多数。AMEDの大型資金を獲得してビフィズス菌を用いた経口ワクチンプラットフォームによるがんワクチンの研究開発を臨床試験入り直前まで進め、その技術シーズを基に、2021年4月に株式会社イムノロックを共同創業し、取締役に就任（現任）。

花谷 忠昭 氏（神戸市 医療・新産業本部 医療産業都市部 医療政策担当部長）

2002年に大阪大学大学院薬研究科博士前期課程修了、2015年に名古屋市立大学大学院薬研究科博士後期課程修了。2002年の厚生労働省入省後、福岡県庁、英国医療技術評価機構（NICE）、内閣官房新型インフルエンザ等対策室、京都大学 iPS 細胞研究所等への出向後、厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課での勤務を経て現職。神戸医療産業都市推進機構クラスター推進センター統括監を兼務。

別添：プログラム詳細

<主催：住吉川バイオエコノミー義塾>

第5次産業革命の中核的テーマになると考えられる「バイオエコノミー」とそのバリエーションである「デジタル×バイオ」産業を対象に、科学技術上のブレークスルーや米国ベンチャー企業によるイノベーションの最新トレンド等について調査研究及び情報・意見交換等を行うことを目的として、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科の一部教員らによって設立された会員組織（任意団体）です。

<共催：神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科>

4つの自然科学系分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT、先端医療学）と社会科学系分野（アントレプレナーシップ）を教育研究の柱とし、これらが互いに融合することにより新たな科学技術や学問領域を生み出すとともに、人材育成・研究開発・事業化が効率よく循環するイノベーション・エコシステムを構築することで、科学技術イノベーション創出を牽引する拠点となることを目指す独立大学院です。

<協賛企業について>

本シンポジウムは、神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科発のバイオベンチャー2社の協賛を得て開催されます。

株式会社バイオパレット（ゲノム編集）：<https://www.biopalette.co.jp/>

株式会社シンプロジェン（DNA合成）：<https://www.synplogen.com/>

<シンポジウム参加申込方法>

以下の情報を、シンポジウム事務局 r2i@ste-kobe.co.jp までメールしてください。受付〆切は7月4日（月）です（定員120名、先着順、参加無料）。

「うはらホール」での参加を希望します。

氏名：

会社（組織）名：

所属部署名：

ご役職：

メールアドレス：

今後のイベントご案内の可否： 可 又は 不可

■オンライン視聴を希望される場合■

以下のURLから事前参加登録をお願いします。（定員1,000名、参加無料）

<https://stin-2.webex.com/stin-2/onstage/g.php?MTID=ef9a0d07dfc85764312557098d64b7746>